

【三陸沿岸道路】トンネル工事の現場見学会を開催

概要

- 唐桑公民館主催、国交省共催で気仙沼市唐桑町内の小学生と保護者を対象とした（仮称）気仙沼第2号トンネルにおける現場見学会を実施した。
- トンネルが出来上がるまでの一連の作業（掘削から覆工まで）を作業内容ごとに実際に体験しながら見学することにより、小学生には土木工事の魅力を、保護者には工事内容と進捗を見ていただき工事への理解を深めてもらうとともに、高速交通網の必要性を学び、ふるさとを理解し、地域を愛しむ心を育むことを目的としている。
- 全3回を予定しており、今回はその第2回目でトンネル工事における鋼製支保工の建込み作業とコンクリート吹付け作業を見てもらい、さらにはトンネルの防水シートへのメッセージ記入体験や掘削した岩石の強度試験を通してトンネル工事への理解を深めてもらった。
- 開催日時：平成27年11月28日（土）10:00～11:30
- 参加人数：25名（小学生11名、父兄11名、唐桑町公民館職員3名）

見学会の内容

- （仮称）気仙沼第2号トンネル工事現場（気仙沼市唐桑町境 地内）
 - ① トンネル工事の概要説明
 - ② 坑内見学
 - ③ 防水シートの落書き体験
 - ④ 岩石強度試験体験
 - ⑤ 記念撮影・記念品贈呈

見学会の様子



▲概要説明



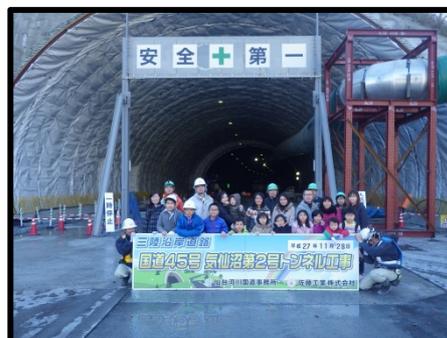
▲坑内見学



▲メッセージ記入体験



▲岩石強度試験を行う参加者



▲記念写真



▲記念品を選別する参加者

参加者インタビュー結果

- 「トンネル断面が3車線から2車線に摺り付いていく状況が分かった。」
- 「将来、このトンネルを行き来するたびに思い出せず。記念が残せてうれしい。」
- 「大きな穴が開いたところが見れて面白かった。」